

平成28年度第8回みやま市教育委員会定例会会議録

- ◆召集日時 平成28年11月15日 午後2時00分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 長岡 廣通
- ・委員 堤 央宜
- ・委員 早川 京子
- ・委員 井上 正明
- ・委員 権島 靖子

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（12名）

- | | |
|------------|--------|
| ・教育部長 | 大津 一義 |
| ・学校教育課長 | 加藤 武美 |
| ・社会教育課長 | 野田 圭一郎 |
| ・指導室長 | 藤岡 育代 |
| ・学校教育課課長補佐 | 甲斐田 裕士 |
| ・総務係長 | 吉川 春美 |
| ・学務担当係長 | 松尾 郁代 |
| ・学校給食担当係長 | 岡 俊幸 |
| ・学校再編推進係長 | 河野 成嗣 |
| ・指導室指導主事 | 待鳥 博人 |
| ・指導室指導主事 | 江上 靖則 |
| ・教育研究所長 | 今村 田鶴子 |

4. 傍聴人

- ・0名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について

- (4) 報告事項
 - (5) 次回教育委員会について
-

【午後2時00分 開会】

【教育長】 10/20 みやま市小学校陸上記録会では、みやまの教職員が一丸となって鍛えてくれている様子がうかがえた。10/15 與田準一児童文学祭では今年も素晴らしい作品が揃っていた。11/27には青少年健全育成大会があるが、年々発表力や体験の質が高まっている。二川・上庄の学校訪問では、着実に子どもたちの成長が見られた。11/20 もみじウォークは年々参加者が増えている。

○日程第1 第8回みやま市教育委員会定例会の会期は平成28年11月15日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は総務係長吉川春美とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については教育長と樺島靖子委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 報告事項

○教育部長

【教育部長】 (先月の定例会以降、次回定例会までの行事について)

- ・今月で全ての小中学校が修学旅行実施。
- ・上庄小・二川小の学校訪問、瀬中校区の中間発表会、小学校陸上記録会、新開能、市民スポーツ大会、與田準一児童文学祭、みやま市文化祭、市P連との意見交換会、健康・福祉フェスタなど、委員の皆様方にはご多忙の中のご出席お礼申し上げます。
- ・越前町との児童交流については、例年通り市文化祭の日程に合わせて実施。
- ・樺島委員は、10月末の市民センター基本計画策定委員会に出席、年度末まで数回の開催が予定、引き続きよろしく願いたい。
- ・市長職務代理者 10/31 に廃止。
- ・故崇仁親王への弔意表明として、11/4 に学校を含めた公共施設で半旗掲揚。

- ・ 11/12 みやまスマートエネルギー㈱からの地域還元のひとつとして、「さくらテラス」と命名したコミュニティ館が本庁舎南側にオープン。
- ・ 11月上旬に学校管理職等の任用候補者 36名の面接を実施。
(今後の予定)
- ・ 11/16 南筑後地区小学校長研究大会、/19-20 まるごとみやま秋穫際、30 南筑後地区教育委員会連絡協議会研修会。
- ・ 11/21 豊後高田市教育委員会の視察受入、/29 福教大の森保之教授を講師に、学校の先生方対象のコミュニティスクールの研修会。
- ・ 12/5 南部小跡地でバイオマスセンター安全祈願祭、12/6～16 日で定例市議会が開催。今回は教育委員会から市議会に上程する議案及び補正予算はなし。

○学校教育課

【学校教育課長】・企画財政課より平成 29 年度の予算編成方針（財政状況が厳しいため、徹底した経費の見直しを）が示された。これを受けて学校別のヒアリングを行うなど、現在予算編成作業中である。

【学校給食担当係長】・市の給食コンクール最優秀賞の給食調理員中村さんが、10/18 に県の給食コンクールに出場し、優良賞を受賞した。

○社会教育課

【社会教育課長】（行事の報告と今後の予定）

- ・ 10/15 與田準一児童文学祭、/16 市民スポーツ大会、/22 みやま市体育協会創立 10 周年記念式典・祝賀会、みやま市文化祭は 10 周年記念事業として 9 月から文化協会の各クラブが趣向を凝らした発表会や作品展示会を 8 回ほど開催して 11/4 の前夜祭、/5-6 の当日と延べ 2,500 名を超える市民が観覧。
- ・ 10/27-28 みやま市社会教育委員の会の皆さんが、県の推薦を受けて千葉県で開催された全国社会教育研究大会にて、基本的生活習慣の定着に向けた家庭の約束 10 か条等について、実践報告を行った。
- ・ 11/19 あいさつチャンピオン大会、/20 第 3 回市町村対抗福岡駅伝大会、19-20 全国囲碁サミット（三重県）、/23 もみじウォーク、/27 青少年健全育成大会。
- ・ 11/28 人権週間街頭啓発、12/4 人権問題啓発公演会、12/3-18 図書館まつり、12/18 みやま市駅伝大会。

○指導室長

【指導室長】・適応指導教室「さくら」利用・相談状況報告。

・学力調査の結果と学力向上策について、国と県の学力調査の結果と、各学校が立てた学力向上策をお手元に配布しています。資料については後程回収します。先ず研究所長より学力調査の結果について報告します。

【研究所長】・平成 28 年度学力調査（国・県）の結果について、資料に添って説明。

【教育長】・結果と分析について話したが、これまでのところで何かありませんか。

【井上委員】・小学校と中学校、又は中学校毎に傾向があるようだが、その中学校を支える校区小学校の傾向を知りたい。

【研究所長】・今回その分析はしていないが、必要とあれば行いたい。

【井上委員】・中学校の課題はどんなところにあるのか。

【待鳥主事】・指導室、研究所を挙げての学力調査に対する機運の高まりが、校長・教頭・主幹教諭まで浸透していても、国語・数学等の教科担当教諭まで波及していないといったところがある。

【井上委員】・それはどうしてか。

【待鳥主事】・教科担当教諭が学力調査の価値を見出していないように感じた。

【指導室長】・学力調査の結果について、小学校では全職員で課題を分析し対策を考えるなど組織的に取り組んでいるのに対して、中学校では高校受験に関わる業者テストや定期考査に比べて重みが強く感じられていないといった実態がある。

【教育長】・高校入試の構えに対して学力調査への意識が薄いことは確かにあると思う。みやま市では学力テストの結果だけでなく、「みやまの力」を大事にしている。実際には小学校から中学校へ個々の伸びはあるものの、評価指標になかなか現れない。みやまの子供が持っている潜在能力、伸び代をもっと伸ばすよう、全部で知恵を出してやってもらいたい。高校入試をワンランクアップするという出口につなげたい。

【指導室長】・そこで対策であるが、学力調査の結果・実態を、先程待鳥主事が話したように、管理職だけに留まらず各学校全体に浸透させるべく、校長、教頭・教務主任、中学校の国語と数学の先生へとそれぞれに説明を行い、それを踏まえて4つの柱を立てて学力向上策を考えてもらった。指導室はこれらのプランの取組状況を注意深く見取っていく。

(中学校)

- ①学力調査の結果を出口である進路指導、進学指導に役立て、目標達成の道筋に乗せる。チャレンジ精神に磨きをかけて、ワンランクアップの志望校に挑戦するような仕掛け。
- ②入試の内容の変更と数値的なデータを併せて教職員へ提示することで意識改革して対策。
- ③学力調査の分析を、担当教科のみでなく、学年主任会や学年の枠を超えた教科部会と、組織をクロスさせて対策。
- ④「みやまの力は9年間で育つ」小中の連携、中学校のPR。

(小学校)

- ①将来にわたる目標設定、5・6年生からのキャリア教育推進。
- ②学習状況調査の結果について、11月のCRTや中学校入学時の業者テスト等の出口である中学進学を意識した指導。
- ③教育課程内外の見直しの強化。
- ④「みやまの力は9年間で育つ」小中の連携。

【教育長】 ・何かお尋ねはないか。

【堤委員】 ・各中学校の定期考査と学力調査との相関関係や学年推移など分かったら、自分の力・学校全体の力が分かりやすいと思うのだが。

【指導室長】・定期考査のデータは教育委員会で持っていない。学校へは、子供達が学力調査の結果を受けて、次の定期考査に目標を立てて臨む道筋を立てることを指示している。全国、県の学力調査については優位性が分析しやすいが、定期考査では難しいといった所もある。双方の得点による進学先の傾向などは捉えることが出来ると思うが。

【教育長】 ・今後県立高校の入試問題を始め定期考査の問題の傾向は、全国学力調査をスタンダードとして集約されていくと思う。そのような中で堤委員のご意見のように教育委員会でデータを取って分析することについてはどうか。これまで通り各中学校に委ねるのでよいか。

【待鳥主事】・これまでも例えば小学校の学力調査以後中学入学翌日の業者テストまでの伸び等は各中学校で把握し、課題があることは分析している。

【井上委員】・「出口の入試」とあるが、推薦入学の生徒も多くいる中、入試を受けている生徒がどれくらいいるのか。また、中学校については相当の授業改善が必要だと感じているがどうか。

【待鳥主事】・小学校に比べれば不十分な点はあるが、みやま市の中学校はこれまでも真摯に授業改善に取り組んできている。指導室も重点課題指定校等かなりの巡回を行った。結果として瀬高中学校の中間報告授業では、他の重点課題指定校と比べて遜色ないと感じた。但し井上委員のご指摘の通り、更に少し上を目指さなければとの思いはある。

【教育長】・井上委員のもう一つのご指摘は、専願が増えてきているということだと思うが、それについて何かご意見がないか。

【堤委員】・入試をどのようなところで捉えるかであろうが、一般試験を受けるのも、専願・推薦を受けるのも入試である。特に専願・推薦を受けることが出来るのが「みやまの力」を兼ね備えた生徒であろう。ここで言う「出口である入試」は一概にペーパーでの一般入試を指したのではないと解釈するものと思う。

【教育長】・入試の概念は今おっしゃったとおりである。他の委員さんから何かご意見はありませんか。

【早川委員】・先程から中学校の課題についての話が出ているが、私は運動会や体育祭、学校訪問を通して、小学校の先生は一致団結して生徒を指導していて、中学校では自主的な生徒の頑張りを先生が見守っているという印象を受けている。そのような中で、8月に開催された裾野教育実践交流会は、中学校の先生は小学校の先生の頑張りを、小学校の先生は今の指導がどう中学校に繋がるかの意識付けにと、小中両方の先生方にとって良い刺激になったと思う。こういった形での小中連携は中学校の課題解決にとっても意義があるのではないか。

【樺島委員】・教科の先生に学力調査の意識が低いとのことだが、何を基準に進学指導を行うのか。

【待鳥主事】・以前業者テストをしていなかった時期があったが、現在は実施しているので、それを基にしている。みやま市に限らず福岡県内はそうであろう。

【教育長】・学校内や地域のテストでは偏差値が出ないという理由で塾通いが増えたといった時期があったが、現在は業者テストを行なっている。

【堤委員】・偏差値に関連して、中学校の定期考査で偏差値を出しているようだが、あくまでその集団の中での自分の位置を確認するためのものであることを、きちんと説明する必要がある。若しくは定期考査で偏差値を出す必要はないのではないか。

【教育長】・先程から話題の「出口である入試」とは勿論、専願・推薦含めてのワンランクアップを意図としている。福岡教育事務所管内と比べて、南筑後教育事務所管内の生徒が、質はそう変わらないのに、入試や学力調査等のいわゆる学力が劣るのは、競り合う力による伸び代の伸ばし方の差であると考えており、それを何とか打破したいと思っている。子供たちに、目標を高く持って夢や希望の実現に向かわせる為には、先生方がみやまの子ども達の伸び代を信じて鍛える事が大切である。先ほど待鳥指導主事からあったように、中学校の授業は改善傾向にあるとの感触を受けている、瀬高中学校の中間報告授業は教育事務所や県の義務教育課の評価も良好であった。そういったところに光明を見出しながら更に小中大連携等に力を入れて、教育委員さんのご助言を頂きながら前進していきたい。

【井上委員】・県立高校の例であるが、定期考査の問題のボリュームについても、学校によって差があるようだ。今までこうだったからという従来のやり方に囚われず改善すること、また定期考査の問題は授業と直結したものであるから、授業を工夫改善して定期考査につなげるシステムの構築が大事であると思う。

【教育長】・キーワードは授業の仕分けだと思っている。アクティブラーニングだけを実践すると時間が足りなくなってしまうことから、鍛えるところは徹底的に訓練して鍛え、生徒の主体的な活動に委ねる部分はしっかりと考えさせるといったふうに、単元全体を見ながらバランスを取って構想、実践していく。そのようなモデルをいくつか示して全体に広げていけたらと思っている。

・その他委員さんから何かありませんか。

【樺島委員】・給食コンクールについて、2年連続入賞したということで素晴らしいことである。このメニューを子供たちに提供することを考えていただきたい。

【学校教育課長】・係長が中座しておりますので、この件については私の方でお預かりして次回回答したい。

○日程5 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 平成28年12月15日（木）午後2時00分～

【教育長】これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。平成28年度第8回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午後3時25分 閉会】